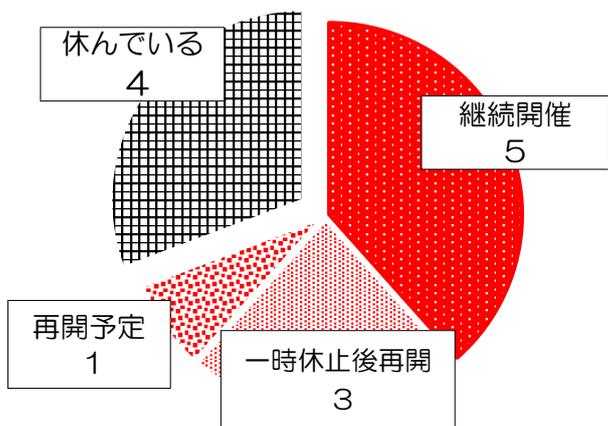


令和2年3年と緊急事態宣言発出、そして再度の宣言発出と、自粛生活が続いています。ワクチン接種も始まりましたが、まだ終息は見えてこない現状、自粛生活は身も心も疲れてきています。毎日の感染者数、重傷者数の発表に一喜一憂する日々です。9月半ばになってやっと感染者の減少が見えて10月緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ気を緩める事は出来そうもありません。

「スキップ」はこれまで地域交流サロンにお邪魔しながら、それぞれのサロンのご紹介をしてきました。コロナ禍でのサロンがどのような状態なのか、又そこに通われていた方々が今どのように過ごされているのか気を揉んでいた一年半でした。高齢化社会に必然的に生まれてきたサロンが、新しい日常への対応をどのように取り込んでいるのか等、市内13か所のサロンに郵便によるアンケートにご協力いただき実態をまとめました。

## 地域交流サロンの今 新型コロナ感染症拡大の中で



令和3年8月10日現在

アンケートに協力いただいたサロン13か所

### 再開したサロン、休んでいるサロンでは

- ◆会場の利用できない（公共施設の利用停止）
- ◆会場の環境によって三密の回避が難しい
- ◆感染に対するスタッフ（責任）、参加者の不安
- ◆感染対策が十分にできない  
などの理由がありました。

### 継続開催しているサロンでも

- ◆場所の変更（晴天時は屋外）
- ◆人数の制限
- ◆時間短縮
- ◆お茶出しを個別ペットボトルに
- ◆おしゃべり中心から体操や折り紙など内容変更
- ◆自由に話す情報交換の様な場面は少なくなり  
順番に話すという形
- ◆机の配置の工夫  
それぞれに出来る工夫をしています。

### サロン開催に当たっては 感染予防対策を徹底

- ◆マスク着用
- ◆3つの密（密閉、密集、密接）を避ける
- ◆人と人との距離の確保
- ◆手洗い
- ◆消毒
- ◆検温
- ◆参加者の名簿作成 等

スタッフだけでなく、  
参加者の協力も必須です。



手洗い



換気



密閉回避

（答 ①座 ②間 ③市）

## サロン休止中にも参加者と繋がって

- ・高齢者で不安のある人は訪問（その方に応じて1～2回/月）
- ・近くの方は声掛けをする（電話、その他）世間話など。
- ・電話を掛けた
- ・週2回の「なかや」の買い物支援サービスバスでお互いに話し合い、一緒に買い物に。
- ・みんなで清掃しながら交わりを深めています。
- ・安易にお誘いできないが、みんなが気遣う**きずな**が生まれたようでうれしい。
- ・参加者の連絡網を作成して、一時的に休止する場合やサロン開催3～4日前に全員に電話することで、安否確認になり喜ばれています。



## サロン活動を通して、気づいたこと、感じていることを伺いました。

- ・新しい参加者、スタッフが増えないのが残念。
- ・コロナ防止という面で、参加者の家族（娘、息子）が参加者の行動に気を配っている。日頃よりサロンの状況を伝えておく事で、心配する気持ちを少しは軽減できそう。
- ・「自粛生活をしているとフレイルになったり、認知症になったり、それを避けるためサロンを続けてほしい」との声に、細々と続けてきました。
- ・外で換気の良い施設（東屋風造りの物）があればと気づかされた。
- ・月2回でも参加される方が楽しみにして頂いています。新しい方が増えればよいと思う反面今はコロナで少し減っていてもいいのかなと。
- ・コロナ終息が見えず活動の予定が定まらないのが悩み。
- ・サロンに参加することで、家庭内に閉じこもる日常生活から開放され、心身の元気回復している参加者、一方参加に不安を感じ元気を無くしている人が徐々に増加していると感じる。
- ・認知症の方も耳のご不自由になられた方もおられるので、なるべくお顔を見話しています。
- ・市や社協の協力がもっと欲しい。

今深刻な状況ではあるけれど、人との**つながり**は、私たちが健康であるために大切な要素です。コロナ禍では、「人との接触を減らす」ことが最優先ですが、今回のアンケートでこれまで大切にしてきた**つながり**は無くさないようにしたいという思いが伝わってきます。まだまだ色々な壁がある中、試行錯誤して下さっている皆さんがいる事を知っていただき、サロンの皆さんのお力添えになればと思います。

新鮮市場なかや座間入谷店

お買い物が不便な地区の皆様

新鮮市場なかやは  
座間市内を中心に  
お買い物送迎車の  
運行を行っています。



仲屋商事本部 046-266-5177 担当若林

### 広告

地元の皆様よりご相談のため、お住まいの地域の利用となります。お住まいの自治体よりご連絡ください。

## Webで地元飲食店を支援!!

全国の信金・企業が一致協力して  
コロナウイルス禍で苦しむ飲食店を  
心意気で支援します

新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出自粛が続く中、地域の飲食店のテイクアウトを利用して、地域の色の魅力を再発見しませんか？

いつものお店はもちろんですが、新たなお店と出会える良い機会です。  
地元の美味しいものを食べて、毎日を元気に過ごしましょう!!

QRコードで簡単アクセス!  
テイクアウト・デリバリー!!



テイクアウト・デリバリー支援サイト

【よい仕事おこしネットワーク×つながろうプロジェクト】  
お問合せ先は城南信用金庫（相武台支店）

講師をお願いした城南信用金庫からの情報提供です。

発行：「スキップ」 ざまの介護情報誌を作る会  
お問合せ：046-252-4727 安部

令和3年9月 発行 (500部)

## お知らせ情報募集！（無料）

講座・イベント開催など \*左記問合せ先まで  
ご連絡ください